

保育目標 心身ともに健やかで生き生きとした子ども

項目	重点項目	達成目標・具体的施策	年度末評価
学びの場である保育の充実	「愛情」を基盤とした自尊感情の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが安心して自分の思いを出すことに繋がる対応について、“愛情”を意識したよみとりをクラスで月2回以上話し合う。</li> <li>・子どもの自尊感情を育む関わり方を学び合う機会を2か月に1回もつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳児は月2回以上子どもの姿からよみとりを行い、一人一人が思いを出し、安心して過ごせるような関わり方や環境について考える機会を持った。幼児は子どもの様子を共有し、愛情を持って関わることの大切さについて語り合った。保護者アンケートでは「職員のお子さんへの接し方について（愛情豊かな関わり）」の問いに肯定的な回答が90%以上となっている。</li> </ul>
	資質・能力を育む保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10の姿を意識したよみとりを年2回行う。</li> <li>・月に1回以上は遊びについての話し合いをし、保育環境の見直しや具体的に教材準備を進めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資質・能力の3つの柱でのよみとりを主におこない、保育環境の見直しや再構成に活かした。幼児は月に1回以上、環境についての話し合いを行うことで子ども達の興味・関心に合った環境作りや教材準備につながった。改修工事に伴い生活に変化があったが自然豊かな環境の中で保育が充実していた。今後10の姿での話し合いを増やし、教材研究を深めることで保育の質の向上を図る。</li> </ul>
	ちがいを認め合える仲間づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が人権について意識し、高められるような研修を年1回以上行う。</li> <li>・人権にまつわる機会を捉え、その都度話し合いをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修を行うことで関わり方について振り返る機会を持った。アンケートの回答から問題提起し、具体的な事例や場面を取り上げて話し合うことで人権意識を高める機会となった。</li> </ul>

保育者の資質向上	職員研修・園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いての研修会を年1回行う。</li> <li>・写真や動画を使った子どもの姿の読み取りをクラスの枠を超えて共有していく。</li> <li>・園内の環境構成について月1回話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いて研修や他園での研修に参加し、自園の保育環境の再構成や保育の充実に努めた。園内の環境構成についての話し合いは随時行った。研修内容や環境についてはより情報共有できるようにしていく。</li> <li>・研修内容などの情報共有には、保育システムを使うなど伝達や共通理解の方法を工夫して、学びや理解を深められるようにしたい。</li> </ul>
	チーム保育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いや会議前に課題や議題ポイントを伝え、職員が意見を持って参加する。</li> <li>・乳幼児の職員で保育内容や環境構成などの意見交換ができる会議を2か月に1回程度もち、語り合い、環境の再構成を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いについては事前に議題の要点を伝達しておくことで、意見交換が進んだ。乳児、幼児共に保育内容や環境構成についての語り合いの場を持ったり遊びをチームで考えたりすることで職員間の連携が深まった。職員全体での共有や連携についてはより工夫をしてチーム保育の推進を図りたい。</li> </ul>
	小学校教育との接続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校接続に関する研修に参加し、小学校教育や幼児教育との繋がりについて学ぶ機会をもつ。</li> <li>・保育所の様子を知る機会として公開保育やホームページを活用し、子どもの遊びの姿を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事に伴う引越して、隣接する摂陽小学校との交流を多く持つことができた。中でも児童くらぶとは「けんだま交流」やSDGsの取り組みなどで密につながり、子ども達の小学校への期待がふくらんだ。</li> <li>・公開保育やホームページ、園だよりの配布など小学校に保育所の様子を積極的に発信した。</li> </ul>